

新サービス・新商品開発で売上アップ!

経営革新塾

受講生募集

「自社の強みを活かし、新しい取り組みをしていきたい」
「中期的な計画を立てて、戦略的に事業を成長させていきたい」
という意欲ある事業主の皆様におススメ!!



本セミナーでは、経験豊富な講師陣を迎えて、自社のビジネスを客観的に分析し、自社の強みを活かした企画書(経営革新計画書*等)の作成までサポートし、新サービス・新商品開発と売上アップを目指します。

また、セミナー終了後も、担当講師が個別に同計画書の承認・具現化に向けた支援を行います。

※経営革新計画書とは…

新たな事業・事業展開の取組について策定する計画書であり、承認されることにより、融資、信用保証、補助金等の優遇処置が受けられます。

開催日時

2019年 **7月20日(土)**, **21日(日)**, **27日(土)**
9時30分～17時00分(最終日のみ16時30分まで)

場所

福岡商工会議所 2階研修室(福岡市博多区博多駅前2-9-28)

対象者

経営者・企画部門の中堅層・管理者層の方
(経営革新計画承認申請・取得を目指す事業者)

統括講師

ベストパートナー 代表 **本多 俊一氏**

定員

20名(応募多数の場合は抽選)

参加費

6,480円(税込)

締切

6月28日(金)17:00 必着

申込方法

裏面の参加申込書をご記入の上FAXもしくは
ホームページよりお申込みください。



生産性向上支援訓練とは、厚生労働省所管の公的な職業能力開発施設であるポリテクセンター福岡の生産性向上人材育成支援センターが、地域の中小企業の生産性向上に関する課題やニーズに対応した知識・スキルを習得するために実施する公的な職業訓練です。今回、当会議所が、事業取組団体としての選定を受け、ポリテクセンター福岡からの業務委託により、会員企業の皆様のために生産性向上支援訓練を実施するものです。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部
福岡職業能力開発促進センター
ポリテクセンター福岡

経営革新塾

充実のカリキュラム

当セミナーの受講から計画の申請・承認までの流れ

経営革新塾(3日間) カリキュラム概要

- ◆**新商品開発の考え方と事例紹介**
 - ・ヒット商品の事例紹介
 - ・新商品開発の考え方(成功要素、顧客志向等)
- ◆**商品企画とアイデア発想**
 - ・自社の現状分析と課題の抽出
 - ・自社の課題解決に向けた新商品・サービスの検討
- ◆**企画書とマーケティング戦略**
 - ・効果的な商品・販売戦略の立案
 - ・企画書(経営革新計画書を例に)の作成

+

塾終了後の個別のフォロー(無料)

支援

計画 経営革新計画書の作成

審査 中小企業振興事務所

承認 福岡県

経営革新計画の福岡県知事の承認に向けて、万全の体制のもと経営者様等を支援します。

承認のメリット

経営革新計画書を申請して福岡県知事の承認を受けると、数々の特別措置に申し込みできます。

補助金・投資の支援措置

- ・経営革新関係補助金(事業経費の補助等)
- ・起業支援ファンドからの投資
- ・中小企業投資育成株式会社からの投資
- ・スタンドバイ・クレジット制度(SBLC)

販路開拓の支援措置

- ・販路開拓コーディネート事業

保証・融資の優遇措置

- ・信用保証の特例
- ・政府系金融機関による低利融資制度
- ・高度化融資制度
- ・中小企業信用保険法の特例

その他の優遇措置

- ・特許関係料金減免制度
- ・福岡県競争入札参加資格審査における地域貢献活動評価(加点)制度

福岡県内では、
年間490社以上の
企業が承認を受けています

経営革新
計画承認

福岡商工会議所 行 【FAX】092-482-1523

参加申込書

(フリガナ) 申込者名		年 齢	
役 職		就業形態	正社員 ・ 非正規雇用 ・ その他
メールアドレス			
事業所名			
代表者名(フリガナ) ※申込者と同じ場合記入不要	売上金額(年)		円
事業所所在地			
事業所TEL	事業所FAX		
従業員数	名	創業年月日	
事業内容			

1. 予定・希望している新商品・新サービス取り組みをご記入下さい。

2. 経営革新計画書の提出について(該当する番号に○をつけて下さい)

(1) 提出する (2) できれば提出したい (3) いずれ提出したい

※本申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、本事業の実施のため使用する(「事業所名」「申込者名」は参加者へ配布いたします)ほか、商工会議所からの各種連絡・情報提供等に使用いたします。なお、個人情報につきましては個別に発表することはありません。
※受講の可否につきましては、締切後メールにてご連絡いたします。

第1回経営革新塾カリキュラム



基本項目欄には生産性向上支援訓練カリキュラムモデル『①新商品開発の考え方と事例紹介』、『②商品企画とアイデア発想』、『③企画書とマーケティング戦略』、『④その他』の該当番号を明記。

1日目

時間	基本項目	カリキュラム内容	形式
9:30 ～ 10:30	④	新商品開発等経営革新の意味を理解し、経営革新計画書を例に事業計画書の書き方、支援策等を知る	講義
10:30 ～ 11:30	①	新商品開発等の支援事例から商品開発の考え方を理解する	講義
昼休み（1時間）			
12:30 ～ 15:00	④	自社の成り立ちから現状までを整理し、企業概要（別表7）を作成する	個人ワーク
15:00 ～ 17:00	②	SWOT分析を行い、自社の強みを活かす（課題の克服）ための対策を考え、翌日グループワークで発表する準備を行う	個人ワーク

≪1日目達成目標≫

新商品開発等の事業計画（経営革新計画）の内容を理解し、自社の計画を検討するために必要な現状分析を行い、計画で取組む方向がイメージできる。

2日目

時間	基本項目	カリキュラム内容	形式
9:30 ～ 10:30	②	新たな取り組み内容について、ターゲット（市場）に何を、どのように展開するかを具体的に説明	グループワーク
10:30 ～ 12:00	②	発表された各自の内容について、実現するための課題や目標・効果について討議する	グループワーク
昼休み（1時間）			
13:00 ～ 15:00	③	グループワークを踏まえ、取組む事業内容をブラッシュアップして、経営革新の内容・既存事業との相違点を具体化する（別表1の作成）	個人ワーク
15:00 ～ 17:00	③	取組み内容はどのような点が新規性があり・他社との差別化・優位性を持つのか考える（別表8の作成）	個人ワーク

≪2日目達成目標≫

事業計画の目標が明確になり、目標を達成するために必要な取組みと他社との差別化・優位性について検討する

3日目

時間	基本項目	カリキュラム内容	形式
9:30 ～ 10:30	③	事業展開に必要な具体的な経営資源（資金・内部体制・営業・販売促進）を明確化し、優先順位を決める（別表2の作成）	個人ワーク
10:30 ～ 12:00	③	取組み内容の新規性・他社との差別化についてグループ内で討議し、必要に応じて修正・見直しを行う	グループワーク
昼休み（1時間）			
13:00 ～ 14:30	③	計画終了時の数値目標を決め、各年次ごとの目標を設定して実現のための具体策と実行計画を決める（別表8、別表2、別表3の作成）	個人ワーク
14:30 ～ 16:30	③	事業計画（経営革新計画）の発表	グループワーク

≪3日目達成目標≫

事業計画のイメージが完成し、目指す目標（利益・経費）を数値化してそのための実行計画（スケジュール）のたたき台が出来る。

※カリキュラム中の「別表」とは、企画書の事例として学ぶ経営革新計画書の別表のこと。